

九州教育学会 第68回大会 プログラム

第1日 11月26日(土)

9:00-	受付開始		
9:30-12:00	自由研究発表		
	第1分科会	教育史	2-A講義室
	第2分科会	教育方法(教育課程)	2-C講義室
	第3分科会	教育社会学(1)	2-D講義室
	第4分科会	比較教育	3-C講義室
12:00-13:00	昼食・休憩		
13:00-13:50	総会	4-A講義室	
14:00-17:30	総合部会	4-A講義室	
18:00-20:00	懇親会	熊本大学くすの木会館	

第2日 11月27日(日)

9:00-	受付開始		
9:30-12:00	自由研究発表		
	第5分科会	教育哲学	2-A講義室
	第6分科会	教育社会学(2)	2-C講義室
	第7分科会	社会教育・生涯学習	2-D講義室
	第8分科会	教育経営・行政	3-C講義室
12:00-13:00	昼食・休憩		
13:00-15:00	ラウンドテーブル		
	I. グローバリゼーションと教育—アジアの社会と教育—		2-A講義室
	II. 「教育の情報化」施策の功罪をかんがえる		
	—費用と効果の観点から		2-C講義室
	III. 地域と子どもに根ざす教育実践・研究を考えるIV		
			2-D講義室

2016年11月26日(土)・27日(日)

熊本大学 教育学部 (黒髪北キャンパス)

目次

大会参加者の皆様へ	2
熊本大学黒髪北キャンパス案内地図	3
会場（教育学部）案内地図	4

<第1日目>

【第1分科会】教育史、【第2分科会】教育方法（教育課程）	6
【第3分科会】教育社会学(1)、【第4分科会】比較教育	7
総合部会（公開シンポジウム）	8

<第2日目>

【第5分科会】教育哲学、【第6分科会】教育社会学(2)	9
【第7分科会】社会教育・生涯学習、【第8分科会】教育経営・行政	10
ラウンドテーブル	11

大会参加者の皆様へ

1. 受付

受付は、第1日目（11月26日）、第2日目（11月27日）ともに、午前9時から行います。場所は、熊本大学教育学部（黒髪北キャンパス）です（3頁および4頁の案内図を参照下さい）。

2. 大会参加費、懇親会費

(1) 大会参加費は次の通りです。参加受付の際にお支払い下さい。

- ① 一般会員・一般臨時会員 3000円
- ② 学生会員・学生臨時会員 1500円

(2) 懇親会費は4000円です。

なお準備の都合上、懇親会に参加される方は、別紙の要領で11月18日（金）までに事前申込みをお願いします。

3. 発表要領

(1) 自由研究発表の時間

- 発表時間 個人研究発表 25分（発表時間20分／質疑応答5分）
- 共同研究発表 50分（発表時間40分／質疑応答10分）

(2) 発表資料

発表資料は50部用意し、当日、発表部会スタッフにお渡し下さい。

4. 昼食

- ・大会1日目は、大学内生協食堂が利用できます。（営業時間11:30～14:00）
- ・大会2日目は、大学内生協食堂は利用できません。周辺のコンビニエンス・ストア等をご利用下さい。

5. 会場

- (1) 自由研究発表の会場は、2—A、2—C、2—D、3—C講義室です。
- (2) 総会と総合部会（公開シンポジウム）の会場は、4—A講義室です。
- (3) 会員控え室は、1—A講義室です。ご利用下さい。
- (4) 懇親会（第1日目18:00～20:00）の会場は、熊本大学くすの木会館です。奮ってご参加下さい。なお準備の都合上、参加予定の方は、別紙の要領で11月18日（金）までに事前申込みをお願いします。

6. 宿泊案内

会場周辺（徒歩圏内）には宿泊施設はありません。各自、熊本市街のホテルをご予約ください。水道町バス停近辺のホテル（「メルパルク熊本」、「東横イン・熊本水道町電停前」等）が便利です。

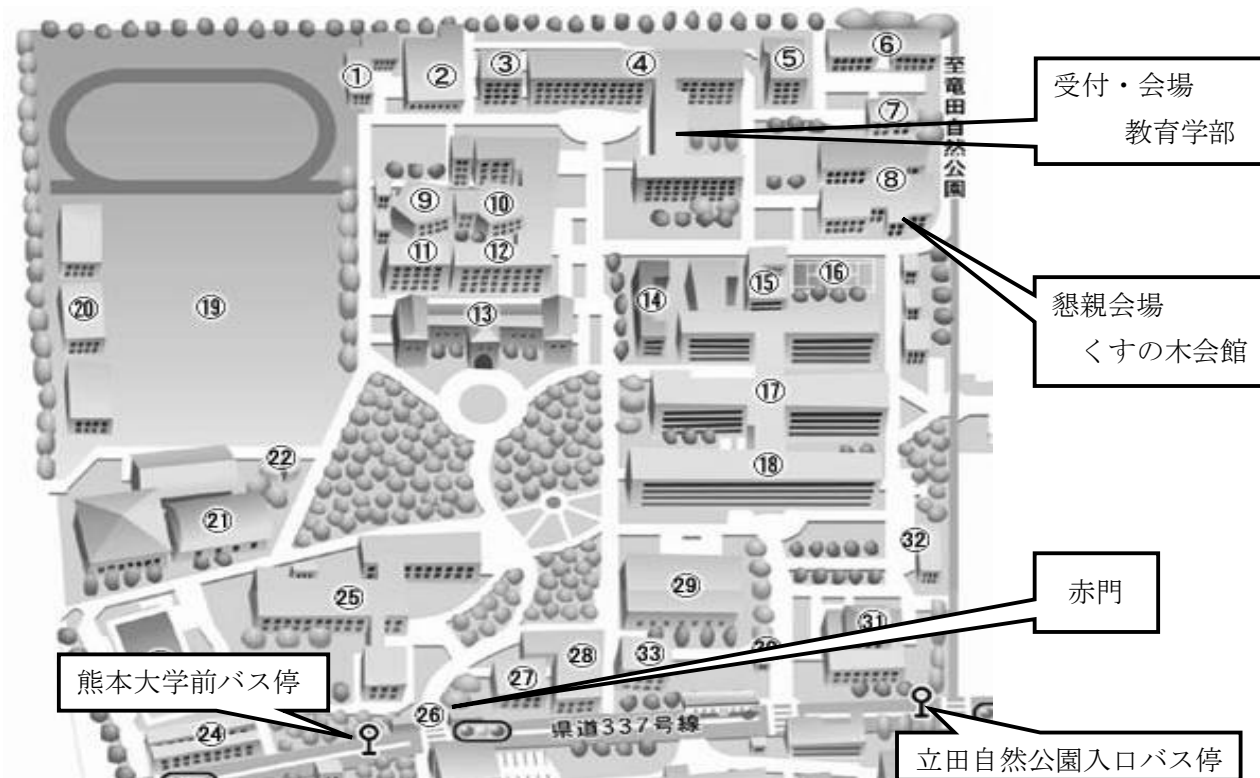
7. 交通機関

- < JR熊本駅から > 産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
都市バス：第一環状線 [駅2]（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」
下車徒歩10分
市電+産交バス：市電の健軍行きに乗車し「水道町」で下車。産交バス
へ乗換。水道町バス停より、楠団地、武蔵ヶ丘等（子
飼橋経由）「熊本大学前」下車
- < JR上熊本駅から > 都市バス：第一環状線 [駅1]、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」
下車徒歩10分
- < 熊本空港から > 空港リムジンバス：熊本駅行き「通町筋」下車、「水道町」から産交バス
で楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」
下車
- < 交通センターから > 産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
- < JR竜田口駅から > 産交バス：交通センター行き「熊本大学前」下車

※詳しくは熊本大学HP「交通アクセス&キャンパスマップ」をご覧ください。

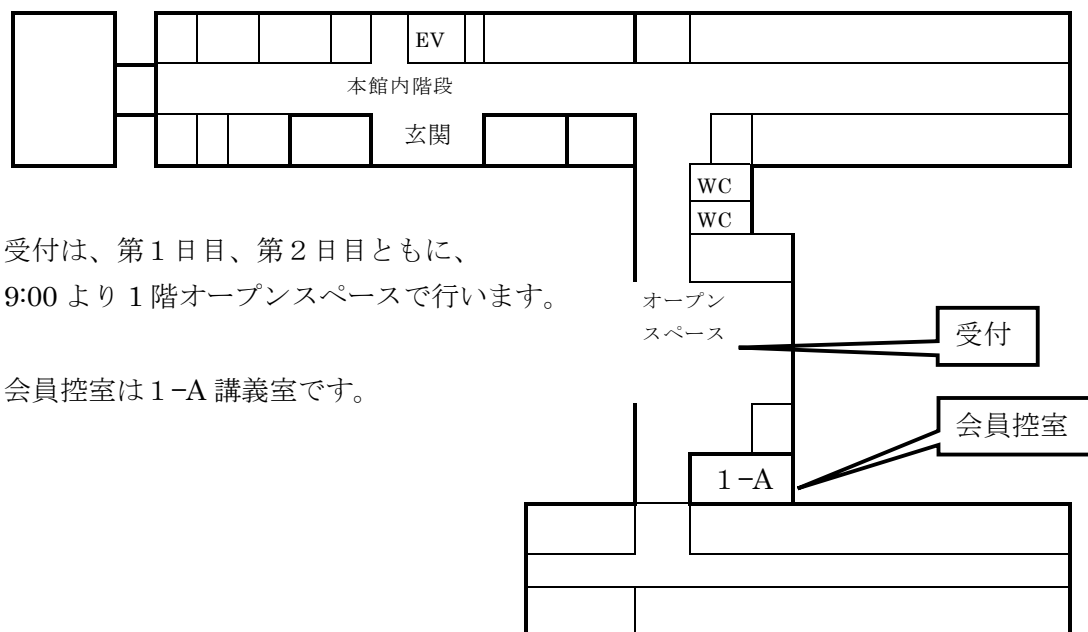
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou>

熊本大学黒髪北キャンパス案内地図



教育学部案内図

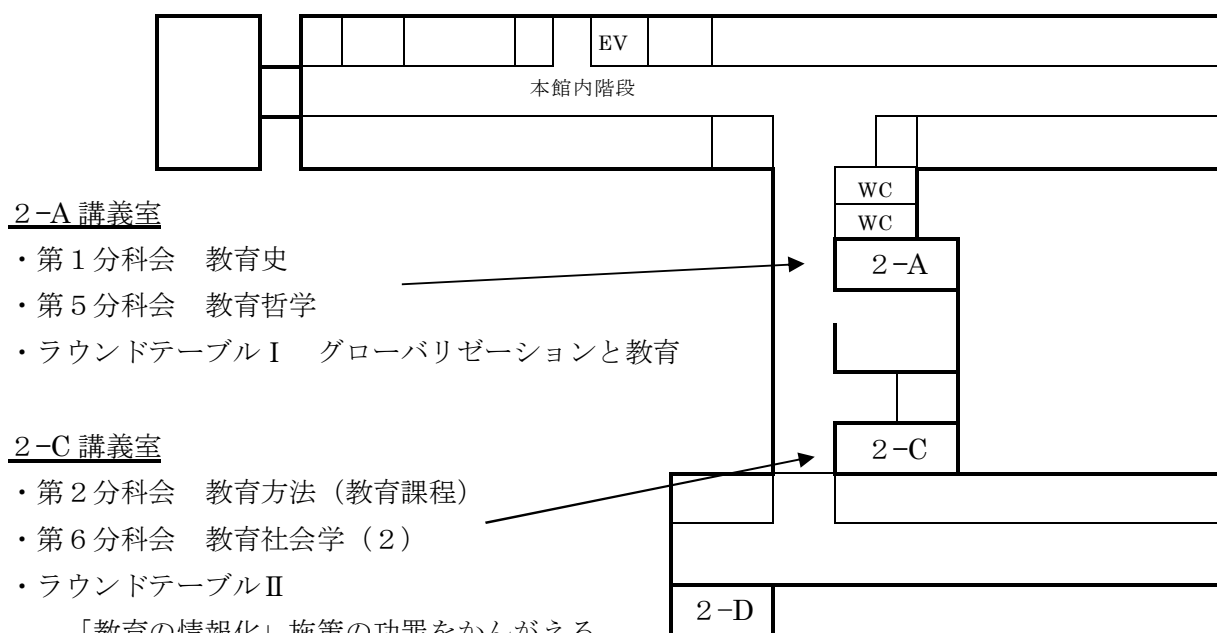
1 階



受付は、第1日目、第2日目ともに、
9:00 より 1階オープンスペースで行います。

会員控室は1-A 講義室です。

2 階



2-A 講義室

- ・第1分科会 教育史
- ・第5分科会 教育哲学
- ・ラウンドテーブルⅠ グローバリゼーションと教育

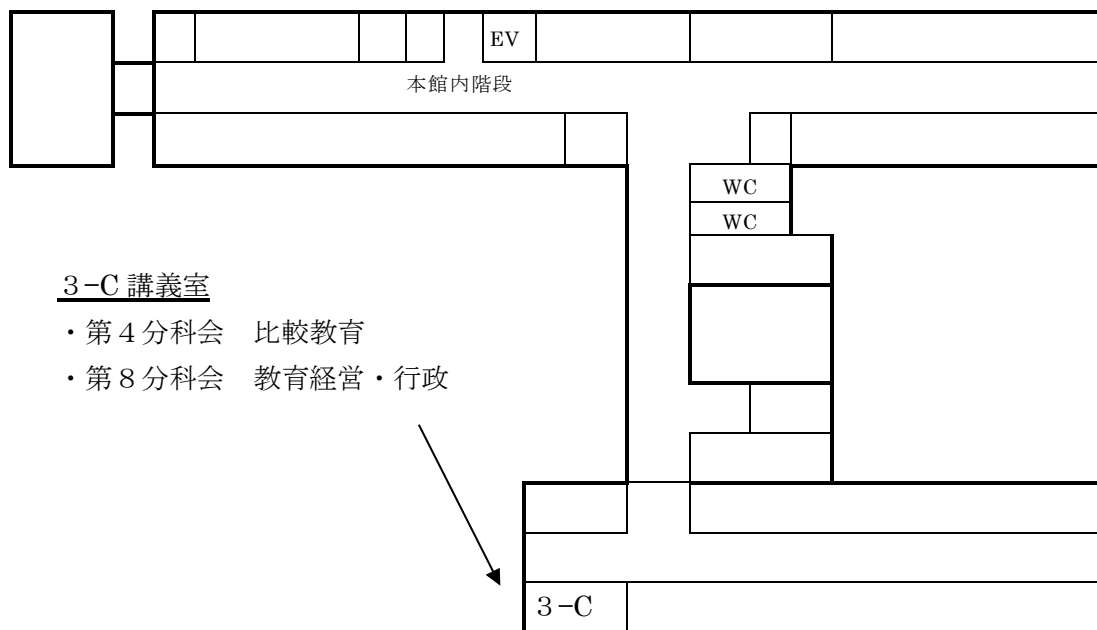
2-C 講義室

- ・第2分科会 教育方法（教育課程）
- ・第6分科会 教育社会学（2）
- ・ラウンドテーブルⅡ
「教育の情報化」施策の功罪をかんがえる

2-D 講義室

- ・第3分科会 教育社会学（1）
- ・第7分科会 社会教育・生涯学習
- ・ラウンドテーブルⅢ
地域と子どもに根ざす教育実践・研究を考えるⅣ

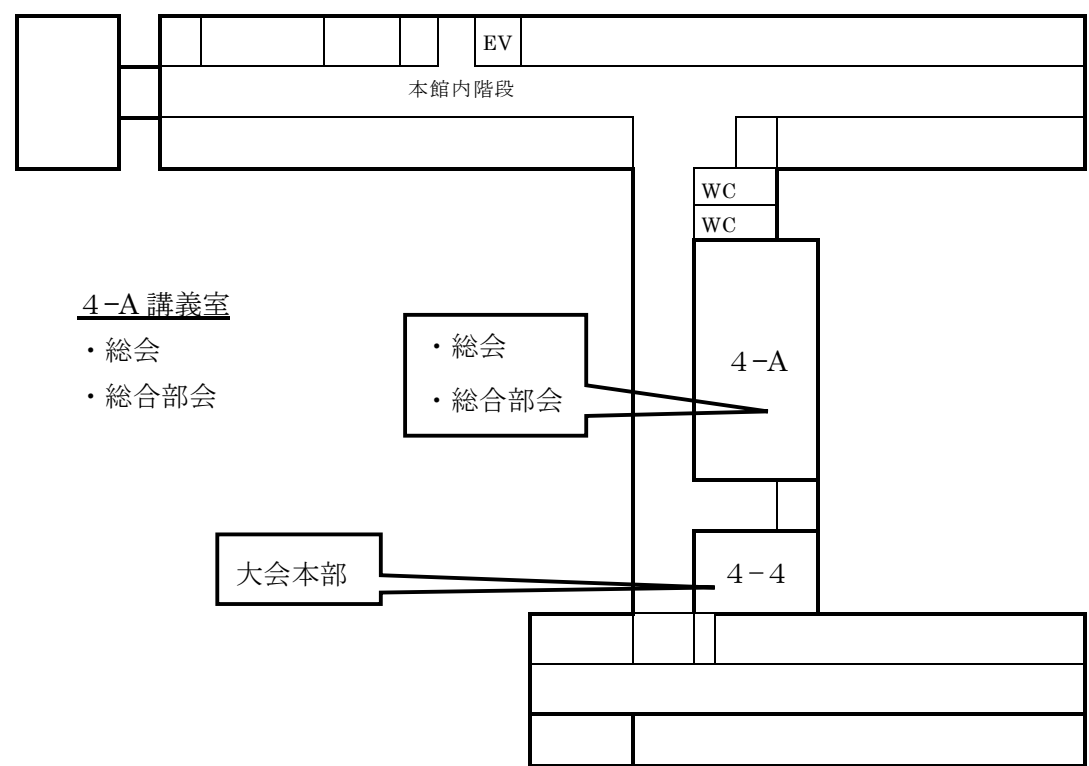
3 階



3-C 講義室

- ・第4分科会 比較教育
- ・第8分科会 教育経営・行政

4 階



4-A 講義室

- ・総会
- ・総合部会

大会本部

自由研究発表：1日目（11月26日 土曜日）

【第1分科会】 教育史

2-A講義室

司会：勝山 吉章（福岡大学）

①9：30－9：55

17世紀イングランドにおける子どもの〈教育〉－教育という授乳と教育概念を中心に－

柴田 賢一（尚絅大学短期大学部）

②9：55－10：20

全九州水平社における嘉穂郡水平社の役割について

竹永 茂美（九州大学大学院）

③10：20－10：45

宮崎県における農業教育史 I ～宮崎県立宮崎農学校と校歌～

○岩田 賢士（南九州大学）

植村 秀人（南九州大学）

④10：45－11：10

近代社会の官僚制導入について－高等試験を中心に－

小島 亜矢子（福岡大学大学院）

⑤11：10－11：35

明治・大正期における盲啞学校経営に関する歴史的研究－福岡盲啞学校を中心に－

菅 達也（長崎純心大学大学院・長崎県立諫早特別支援学校）

〈11：35－12：00 総括討論〉

【第2分科会】 教育方法（教育課程）

2-C講義室

司会：伊藤 安浩（大分大学）

①9：30－9：55

中学校道徳における「平和」を題材とした授業実践

－ガルトゥング平和学の立場から沖縄問題を考える－

城間 元喜（名桜大学大学院）

②9：55－10：20

自己肯定感育成を目指す学校の研究

森永 謙二（久留米市教育委員会）

③10：20－10：45

自治的活動を基盤とした学級づくりに関する研究

－小学校教師のライフヒストリーに基づいて－

河野 由佳（大分大学大学院）

④10：45－11：10

学習方略の運用と変容に関する一考察－ノートテイキングの変容に着目して－

下地 貴樹（九州大学人間環境学府教育システム専攻学術協力研究員）

⑤11：10－11：35

“学力向上対策”は教育実践にどのような影響をもたらしたか

－沖縄県の学力政策を批判的に検討することを通して－

古庄 清宏（志學館学園）

〈11：35－12：00 総括討論〉

自由研究発表：1日目（11月26日 土曜日）

【第3分科会】 教育社会学(1)

2-D講義室

司会：東野 充成（九州工業大学）

①9：30－9：55

大学入試における受験校決定時期と志望度・本意度との関係

竹内 正興（鹿児島大学アドミッションセンター）

②9：55－10：20

大学生のインターンシップ経験に関する一考察－業種別のプログラムに着目して－

酒井 佳世（久留米大学）

③10：20－10：45

段階に応じた専門教育におけるインターンシップ－社会科学系分野に着目して－

坂巻 文彩（九州大学大学院）

④10：45－11：10

教員志望学生の大学授業内における対話の展開とその要因に関する一考察

－教職についた後に必要となる協働的な対話の実現を目指して－

山内 絵美理（鹿児島大学大学院）

〈11：10－12：00 総括討論〉

【第4分科会】 比較教育

3-C講義室

司会：竹熊 尚夫（九州大学）

①9：30－10：20

タイ・ラオス・カンボジアにおけるASEAN共同体の基礎教育へのインパクト

○森下 稔（東京海洋大学）

○平田 利文（大分大学）

②10：20－10：45

イギリスの正教員資格における市民性教育の変容

松尾 祥子（九州大学大学院）

③10：45－11：10

韓国における多文化家庭の子どもへの大学生メンタリングの導入経緯と現状

申 芸花（九州大学大学院）

〈11：10－12：00 総括討論〉

< 総合部会（公開シンポジウム） >

日時：11月26日（土）14:00—17:30

会場：熊本大学教育学部4—A講義室

子育て環境としての地域と学校統廃合

司会：元兼 正浩（九州大学）

金子 満（鹿児島大学）

<シンポジスト>

葉養 正明（文教大学） —教育行政学の立場から—

入家 泰雅（八代市立鏡西部小学校） —学校教諭の立場から—

田北 雅裕（九州大学） —まちづくりデザインの立場から—

近年、子育て環境が大きく変化してきた。子育ては従来、家族だけではなく地域においても行われ、子どもは家族、親族、地域社会や異年齢の子ども集団のなかで生活し、発達していった。しかし、高度情報化社会の出現により、地域社会の中で子どもが様々な他者・もの・自然と出会い、関わりあう中で自己を形成していく「自己形成空間」が急速に衰退している。

他方、過疎化・少子化の進展にともない、学校統廃合が全国各地で推し進められてきた。第68回大会が開催される熊本県では、過去15年間の学校統廃合の結果、180校以上もの小・中学校が廃校となった。急速な学校統廃合は校区を広域化させ、地域のあり方、学校のあり方、子どもの生活などに様々な形で影響を及ぼすのではないかと考えられる。この間の学校統廃合によって、地域の子育て環境や子どもの自己形成空間はどのように変化し、変容したのだろうか。

また、学校の統廃合が議論される場合、財政効率や教育効果、子どもの教育環境など、学校教育の問題を中心とした論点が提示されるのが通常である。しかしながら、学校は地域における子どもの教育の中心的担い手であると同時に、地域コミュニティ形成の基盤でもある。学校統廃合は、学校教育の問題というだけではなく、子育て環境としての地域の持続可能性とも関連する問題であると言えよう。学校統廃合の勢いは一時期にくらべると落ち着いてきているとはいえ、人口減少社会にあっては、今後さらに統廃合が進むものと考えられる。そうした中で、私たちは地域の子育て環境をどのように展望することができるのだろうか。

今回の総合部会では、葉養氏に教育行政学の立場から学校統廃合の課題について提起していただき、入家氏には学校教諭の立場から熊本の現状の分析を、田北氏には、まちづくりデザインの立場から地域と学校のあり方を提示いただくことによって、様々な視点から総合的に議論を進めていきたい。

自由研究発表：2日目（11月27日 日曜日）

【第5分科会】 教育哲学

2-A講義室

司会：：山岸 賢一郎（長崎大学）

①9：30-9：55

自律と他律の現れ方—意図と理由の空間への参入をめぐって—

宮川 幸奈（九州大学大学院）

②9：55-10：20

デュイーにおける「オキュペーション」に関する—考察
—現代におけるプロジェクト型の学びの観点から—

定方 太希（熊本大学大学院）

③10：20-10：45

教育におけるシステムへの信頼について

山崎 友里江（九州大学大学院）

④10：45-11：10

ゴルギアス篇におけるソクラテスの吟味エレンコスと教育

東 敏徳（幼児教育専門学校（元））

⑤11：10-11：35

聞く資料による道徳授業—子どもの自己肯定感を育むために—

上菌 恒太郎（長崎総合科学大学）

〈11：35-12：00 総括討論〉

【第6分科会】 教育社会学(2)

2-C講義室

司会：：山田 裕司（南九州大学）

①9：30-9：55

中国専門職大学院教育における産学官連携による企業実習の変容

王 佳（九州大学大学院）

②9：55-10：20

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による
アイヌ民族理解・啓発活動についての一考察

アイヌ文化活動アドバイザー派遣制度を利用したアイヌ民族理解学習の効果と課題

大家 香子（東九州短期大学（非））

③10：20-10：45

部活物語における成長の「語り」：音楽部活の場合

白石 義郎（久留米大学）

④10：45-11：10

園歌・園章にみる幼児教育文化(6)—熊本県下の幼児教育施設を事例として—

大庭 茂美（九州女子短期大学名誉教授）

〈11：10-12：00 総括討論〉

自由研究発表：2日目（11月27日 日曜日）

【第7分科会】 社会教育・生涯学習

2-D講義室

司会：相戸 晴子（宮崎国際大学）

①9：30－10：20

幼児の日常生活と親のかかわりに関する考察(2)

－「発達資産(Developmental Assets)」の視点から－

○永田 誠（大分大学）

○上野 景三（佐賀大学）

○大村 綾（佐賀女子短期大学）

②10：20－10：45

三池争議と子どもたち－農中茂徳『三池炭鉱 宮原社宅の少年』から－

勝山 吉章（福岡大学）

③10：45－11：10

沖縄の字幼稚園を支える保護者の意向

－名護市・宮里幼稚園の保護者アンケート調査の分析から－

嘉納 英明（名桜大学）

④11：10－11：35

日本型アイドル文化の越境と中国青少年に与える影響に関する一考察

登坂 学（九州保健福祉大学）

〈11：35－12：00 総括討論〉

【第8分科会】 教育経営・行政

3-C講義室

司会：岩永 定（熊本大学）

①9：30－9：55

生活保護母子加算をめぐるポリティクス

東野 充成（九州工業大学）

②9：55－10：20

学校裁量予算制度がもたらす学校経営戦略への影響に関する一考察

木村 栞太（九州大学大学院）

③10：20－10：45

日本のALT制度に関する批判的検討－1980年代の「制度変化」に着目して－

鄭 修娟（九州大学大学院修士課程修了）

④10：45－11：10

行政による放課後の教育格差是正策について～日・米・韓の事例を中心に～

金 美連（九州大学大学院）

〈11：10－12：00 総括討論〉

ラウンドテーブルⅠ

（2-A講義室）

グローバル化と教育－アジアの社会と教育－

企画提案者：白石 義郎（久留米大学）

この企画は、社会の形成において、グローバル化がもたらす影響を教育の視点から捉えようとするものである。特に、本年度はアジア社会に焦点を絞り、グローバル化と教育の関係性を社会的視点から議論していくことを目的としている。

ラウンドテーブルⅡ

（2-C講義室）

「教育の情報化」施策の功罪をかんがえる－費用と効果の観点から

企画提案者：元兼 正浩（九州大学）

発表者：元兼 正浩（九州大学）

小林 昇光（九州大学大学院）

神保 京子（九州大学大学院）

王 若曦（九州大学大学院）

企画趣旨・司会

校務の情報化の現状と課題

熊本県立高等学校の事例

中国山東省青島市の事例

2030年や2045年問題など近未来予測が教育関係審議会でもしばしば語られ、次期学習指導要領がスタートする2020年に向けて「教育の情報化」施策の議論も進行している。一方で、先進自治体の失敗事例が大きく報じられるなど現場の捉えは懐疑的であり、費用対効果の観点で自治体も足踏みをしている状況にある。そこで改めて費用効果の視点で教育の情報化施策の功罪について議論する場を用意した。参加者とともにつくるラウンドテーブルとしたい。

ラウンドテーブルⅢ

（2-D講義室）

地域と子どもに根ざす教育実践・研究を考えるⅣ

（第7回九州教育実践事例研究会）

企画提案者：田上 哲（九州大学）

発表者：茂見 剛（九州大学大学院）

熊本県で実践研究されている教師2名

九州教育学会は、九州沖縄8県の回り持ちで開催されています。本ラウンドテーブルは、九州教育学会の開催県およびその近隣地域で、個人やサークルで自発的・自主的に、また学校や機関の中で主体的に教育実践・実践研究に取り組んでいる教師と、教育実践研究に取り組んでいる研究者が集い、地域に根ざす教育実践・研究、子どもに根ざす教育実践・研究について検討しようとするものです。

九州教育学会 第68回大会 プログラム

発行：2016年11月

発行者：九州教育学会 第68回大会準備委員会

委員長 岩永 定（熊本大学）
事務局長 藤井 美保（熊本大学）
準備委員 今井 伸和（熊本大学）
柴田 賢一（尚絅大学短期大学部）
白石 陽一（熊本大学）
苫野 一徳（熊本大学）
堀 浩太郎（熊本大学）
山城 千秋（熊本大学）

九州教育学会第68回大会準備委員会事務局

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学教育学部教育学科内

TEL&FAX：096-342-2627（教育学科事務室）

E-mail：kk68bear@educ.kumamoto-u.ac.jp